

病院薬学コース特論・演習

Integrated Hospital Pharmacy

薬：L1-17613MY

コース科目 6年／前期 1.5単位 選択必修科目

科目責任者 野澤 玲子(臨床神経薬理学研究室)

■教育目的

1. 臨床薬剤師として必要な知識と技能を演習形式の授業で身につける
2. 学生が自分の希望に合わせていくつかの内容から演習項目を選択できる
3. 高機能シミュレータを利用してフィジカルアセスメントを学ぶ
4. 妊婦・授乳婦への服薬指導方法を学ぶ
5. 臨床統計を学ぶ
6. 臨床疑問解決のための方法を学ぶ
7. 医薬品情報の適切な収集、評価、提供を学ぶ

【卒業認定・学位授与の方針：YD-③、⑥】

■学習到達目標

6年制薬剤師教育のまとめとして、課題解決型の学習を行い、よりレベルの高い統合的な能力を身につける。(知識・技能・態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：オリエンテーション時に選択した演習内容について、予備知識を自己学習する(30分以上)。

復習：当該日の演習内容を復習し、理解不足部分を見つけ、補うことにより知識を豊かにする(30分以上)。

■授業形態

課題解決型学習、ディスカッション・ディベート、グループワーク、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1～2	オリエンテーション	病院薬学コース実習の振り返り、および授業のオリエンテーションを行い、各自が科目を選択した後にグループ形成を行う	F
3～4	テーマ別講義・演習	各演習テーマについての講義の後、SGD形式で演習する	E1(3)-①-1,2
5～6	テーマ別講義・演習	フィジカルアセスメント講義・演習 妊婦の薬相談についての講義・演習	E1(2)-②-8 F(2)-④-13
7～8	テーマ別講義・演習	生物統計のトレーニング講義・演習	E3(1)-⑤-1～7
9～10	テーマ別講義・演習	臨床研究デザインと解析のトレーニング講義・演習	E3(1)-⑥-1～9
11～12	特別講義	薬事委員会についての講義・演習	E3(1)-⑦-1～3 F(2)-⑤-11
13～14	特別講義	多職種連携についての特論 日本社会事業大学教員による特別講義	
15	まとめ	全体のまとめ	F

■授業分担者

大野 恵子、櫛山 暁史、小林 カオル、野澤 玲子、花田 和彦、安 武夫、山谷 明正、鈴木 陽介、常住 亜衣子、松本 靖彦、杉 富行、高橋 雅弘、永井 純子、小田 絢子、渡辺 史也(No. 1～10)

外部講師(No. 11～14)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

講義・演習中に随時質問を受け付け、解説・説明する。課題レポート作成(100%)により評価する

■参考書

治療薬マニュアル(医学書院)、今日の治療薬(南江堂)、

Pharmacotherapy: A Pathophysiologic Approach, 13th ed. 等

『症例から学ぶ SOAP ワークブック』緒方、越前、高橋(じほう)

■その他

AB 合同授業(病院薬学コース選択学生)。テーマ別演習の項目と日程は都合により追加・変更されることがある。